

能力分析表（書くこと～意見文～）

	育成すべき能力		学 年				
			小1・2	小3・4	小5・6	中1	中2・3
相手 目的 発想 認識	1	伝えたい相手や目的を考える。	○	○	○	○	○
	2	伝えたい考えや意見を明確にする。			○	○	○
	3	身近な生活や学習の中から課題を見つけ、意見や考えをまとめる。				○	
	4	広い範囲から課題を見つけ、事実を正しくとらえ、意見や考え方を深める。					○
取材 選材	5	自分は何を伝えたいのかを考え、必要な材料を集める。	○	○			
	6	書こうとする事柄について何を調べればよいかを考え、調べることができる。			○		
	7	自分の考えや意見を的確に表すために、身近な生活や学習の中から課題を見つけ、意見の根拠や理由となる材料を集める。			○	○	
	8	社会生活など広い範囲に目を向け、考えなければならない課題、解決すべき課題を見つけ、自分の意見を支えるための根拠を複数集める。					○
	9	相手に納得してもらえるように、書く材料を整理する。			○		
	10	意見にかかわる必要な材料を取捨選択する。				○	
構成	11	自分の考えや気持ちを的確に表すために、事実や事柄、課題、意見を裏付けるための適切な材料を複数用意する。				○	○
	12	自分の考えを中心に据えて書く。	○	○			
	13	文のはじめとおわりを意識して書く。	○				
	14	書き出し・中心・結びなど、段落相互の関係を考えて書く。		○			
	15	相手や目的に合わせて、意見が伝わるように効果的な段落構成を考えて書く。			○		
	16	意見と根拠の配置を工夫し、自分の意見が効果的に伝わるように考える。				○	
記述	17	伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように、頭括式・尾括式・双括式などの形式を使用し、文章の展開を工夫して書く。				○	○
	18	語と語や文と文との続き方に注意して書く。	○				
	19	段落と段落の続き方に注意して書く。		○			
	20	事実と意見を区別して書く。			○	○	
	21	相手や目的に応じて、簡潔に書いたり詳しく書いたりする。				○	
	22	自分の立場や意見を明確にし、考えや主張の中心をはっきりさせて書く。				○	○
	23	自分の意見を支える根拠を明らかにして、説得性を持たせて書く。				○	○
	24	反論を予想し、対応を組み込んだり意見を強化するための根拠を示したりしながら書く。					○
25	効果的な書き出しや結び、文末表現を工夫して書く。					○	
推敲 評価 批評	26	書いた文章を読み返す。	○				
	27	仮名遣いや漢字の間違いを正す。	○	○			
	28	表現や語句の用法、叙述の仕方を確かめて、読みやすく分かりやすい文章にする。			○	○	
	29	相手や目的に応じて自分の意見が十分に表現できているか振り返る。			○	○	
	30	段落の設け方、段落相互の関係、論点と論拠の関係を見て、説得力のある文章にする。					○
	31	自分や友だちの文章のよいところに気づく。	○	○	○		
	32	書いた文章を互いに読み合い、課題のとらえ方や材料の集め方、問題提起の仕方などについて、自分の表現の参考にする。			○	○	
33	書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や材料の活用の仕方、説得力のある文章の書き方について、自分の表現に役立てる。					○	